

- 問1 航空写真などの上空からの視点で見ると、前方部が方形（四角形）、後方部が円形をしており、全体として巨大な鍵穴のような形状をしている日本独自の古墳の名称として適切なものはどれか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. 八角墳                      2. 円墳                      3. 前方後円墳                      4. 方墳
- 問2 5世紀の古墳から出土する、甲冑（よろい・かぶと）を身にまとい、背中に矢を背負った武人の姿を模した土製品について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）
1. 人物埴輪と呼ばれ、当時の緊迫した東アジア情勢を反映した軍事文化を伝えている                      2. 七支刀と呼ばれ、百済の王から贈られた最新の鉄製武器の威力を示している                      3. 唐から伝来した仏教儀礼に基づき、寺院の門に配置される守護神を表している                      4. 弥生土器と呼ばれ、大陸から伝わった金属器の使用方法を儀礼的に示している
- 問3 4世紀から7世紀頃にかけて、朝鮮半島や中国大陸から日本列島へ移住し、鉄器の製作、須恵器の生産、さらには漢字や仏教などの高度な技術や文化を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. 遣唐使                      2. 防人                      3. 弥生人                      4. 渡来人
- 問4 古墳時代の中期から後期にかけて、大陸から伝わった技術や思想が当時の日本に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本独自の文字である「かな文字」が考案され、古今和歌集のような優れた文学作品が生まれた。                      2. 穴窯を用いた高温焼成による須恵器の製作や、儒教・仏教といった新しい思想が導入された。                      3. 律令国家の仕組みを確立するため、国家の成り立ちを記した日本書紀などの歴史書が作成された。                      4. 大陸から青銅器の製作技術が伝わり、農耕の収穫を祝うための祭りの道具として普及した。
- 問5 法隆寺などの寺院が建立され始めた時期、日本の歴史的背景における建築物の変遷について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 律令制度の確立により、すべての有力者は墓を造ることを禁止され、代わりに都へ移住することが義務付けられた。                      2. 仏教の伝来にともない、それまで権威の象徴であった有力者の巨大な墓に代わって、寺院が建立されるようになった。                      3. キリスト教の伝来により、各地の有力者は伝統的な墓の形式を捨て、教会を模した石造りの建築物を好むようになった。                      4. 狩猟採集の生活から稲作を中心とする生活へ変化したことで、共同体の食料を保管するための高床倉庫が寺院へと発展した。
- 問6 4世紀から5世紀にかけて、朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、さらには須恵器の製作技術や鉄器の製造といった高度な文化や技術を伝えた人々を何と呼びますか。（2021年 千葉県公立入試 類似）
1. 遣唐使                      2. 部民                      3. 渡来人                      4. 防人
- 問7 古墳時代の東アジアにおける対外関係と文化の流入について、その背景と内容を説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
1. この時期の日本は大陸から完全に孤立しており、大陸の文化が流入し始めたのは平安時代以降である。                      2. 大陸との交流は小規模な民間貿易に限られており、国家間の正式な外交や技術導入は行われていなかった。                      3. 倭の王権は朝鮮半島の諸国や中国の王朝と交流し、馬具などの実用的な技術や高度な工芸品を取り入れていた。                      4. 中国大陸の南朝とのみ交流し、朝鮮半島の高句麗や新羅とは敵対関係にあったため、半島由来の文物は存在しない。
- 問8 大阪府堺市に位置する、全長約486mにおよぶ日本最大の前方後円墳の名称として正しいものを、次の中から選びなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 三内丸山遺跡                      2. 登呂遺跡                      3. 大仙古墳                      4. 吉野ヶ里遺跡
- 問9 5世紀頃、大和政権の王（倭の五王）が中国の南朝へ繰り返し使者を送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2020年 香川県公立入試 類似）
1. 隋に対して対等な立場での外交を求め、小野妹子を派遣して中国の進んだ律令制度を学ぶため。                      2. 唐の勢力拡大に対抗するため、朝鮮半島の百済や新羅と結んで軍事同盟を強化するため。                      3. 中国の北朝から公式に仏教を取り入れることで、鎮護国家の思想に基づいた国づくりを行うため。                      4. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権を認めさせ、鉄資源の確保などの面で他国より優位に立つため。
- 問10 埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には「獲加多支鹵大王」という称号が刻まれています。これと同様の称号が記された鉄刀が熊本県の江田船山古墳からも出土していることから推測できる、5世紀後半の日本の政治状況として最も適切な説明を選んでください。（2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 大和政権（ヤマト王権）の支配力が、関東から九州におよぶ広い範囲に広がっていた。                      2. 邪馬台国の卑弥呼による統治が、近畿地方を中心に安定していた。                      3. 東北地方から九州地方まで、完全に統一された律令国家が成立していた。                      4. 各地域の豪族が独自の王号を名乗り、中国の王朝と直接外交を行っていた。
- 問11 大阪府堺市に位置する大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）が属しており、周辺の古墳とともに2019年に世界文化遺産に登録された古墳群の名称として正しいものはどれか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 吉野ヶ里遺跡群                      2. 登呂遺跡群                      3. 百舌鳥・古市古墳群                      4. 三内丸山遺跡群
- 問12 5世紀前半に近畿地方を中心として大型の前方後円墳が建設され、5世紀後半には九州の熊本県江田船山古墳と関東の埼玉県稲荷山古墳の双方から同じ大王の名が刻まれた鉄剣・鉄刀が出土しました。この歴史的出来事から読み取れる内容として最も適切なものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。（2025年 宮崎県公立入試 類似）
1. 邪馬台国の女王が中国の魏に使いを送り自らの支配権を認めさせたこと                      2. 近畿地方を中心とする王権の勢力が九州から関東にまで拡大していたこと                      3. 九州地方の首長が独力で関東地方まで直接支配していたこと                      4. 東日本を中心に前方後円墳が造られ政治的統一が完成したこと
- 問13 5世紀後半のものとされる埼玉県稲荷山古墳出土の鉄剣や、熊本県江田船山古墳出土の鉄刀には、「ワカタケル大王」という名が刻まれています。この事実から推測される当時のヤマト政権の様子について、最も適切な説明はどれですか。（2026年 和歌山県公立入試 類似）
1. 大王の支配力が、関東地方から九州北部まで広範囲に及んでいた。                      2. 大王の地位は固定されておらず、各地の豪族が交代でその任に就いていた。                      3. 大王は奈良盆地周辺のみを治める、限定的な勢力に留まっていた。                      4. 各地の豪族が大王の許可なく、独自に大陸と外交を行っていた。